

杉並を日本のモデルに！

—子育て・福祉・まちづくり—

田中良 前杉並区長

世代の責任を果たそう

「対話」「参加」「みんなで」——岸本区政が好んで使う言葉です。いずれも大事な理念です。しかし、区民にとってそれ以上に重要なのは、「何を為したか」です。「何も進んでいない」ことの隠れ蓑として、これら耳あたりのよい言葉が使われているとしたら——。

私は将来世代に必要なことを達成するため、信念を貫き仕事をしてきました。なぜなら、それが本当に地域を愛する者の「世代の責任」だと信ずるからです。

田中良

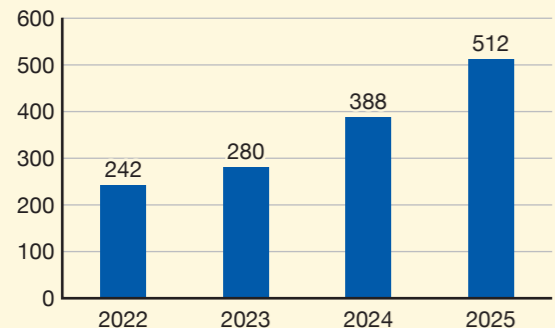
田中良は、完全無所属。 自治体経営は党より人です。

田中区政の12年間で杉並区は「選ばれる街」へと大きく成長しました。
しかしこの4年間、現区政は「対話」を掲げるのみで、福祉、防災、まちづくりなど区の重要課題はあと回しにされています。この停滞を打破し、杉並区を再び成長軌道へ。

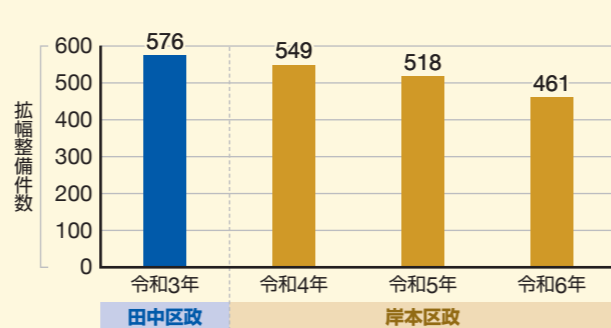
実績の田中区政と停滞の岸本区政

| | 田中区政 | 岸本区政 |
|-----------|---|--|
| まちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口増、街の活気生まれる ◎ 阿佐ヶ谷駅北東地区計画の推進 ◎ 方南町国家公務員宿舎跡地を住宅として整備 | <ul style="list-style-type: none"> △ まちづくりの停滞 × 京王井の頭線 浜田山駅 南口開設をストップ |
| 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 保育園待機児解消、以後待機児ゼロに ◎ 全小・中学校にエアコン設置 ◎ 台湾との交流(中学生野球・阿波おどり) | <ul style="list-style-type: none"> × 学童クラブ待機児童512名 全国ワースト1位(子ども家庭庁調査 令和7年) × 富士学園を売却、移動教室を旅行業者に丸投げ委託 |
| 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 特養 約1100床増設 切迫した要介護度3以上の待機者を解消 | <ul style="list-style-type: none"> × 介護サービスの目詰まり |
| 安全・防災 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 区内建築物耐震化率の向上 ○ 狭あい道路拡幅事業の推進 ◎ 下高井戸東電グランド跡地を公園・調整池・スポーツ施設に | <ul style="list-style-type: none"> × 水害対策 事実上ストップ状態 × インフラ整備停滞 |

毎年増加! 学童クラブの待機児童数の推移(岸本区政)



毎年減少! 狭あい道路整備事業の件数の推移



再起動した杉並は中面へ! ▶

田中良が描く、
成長する
杉並

杉並を日本のモデルに!

実績を土台に、停滞した4年を前へ。
いまの課題を解決し、杉並を成長のステージに進めます。



1 いま困っている課題を すぐ動かす

- 物価高対策を杉並独自で実施
- 全国ワースト1の学童クラブ待機児を2年間でゼロに
- 浜田山駅南口を早期開設

2 100年先も誇れる杉並へ

子育て・教育

- 出産一時金の大幅増額(20代100万円・全世代第2子以降100万円)
- 20代出産女性の30代以降の正規雇用復帰支援
- 誰でも通園制度の利用拡大
- 障がい児保育の拡充
- 小児医療・心のケア強化
- いじめ対策、教育環境の改善強化

福祉・安心

- 杉並介護・福祉教育機関の創設、介護従事者支援強化
- 特養待機者実質ゼロの継続
- ケア24の相談機能の強化
- 親亡き後の障がい者支援
- 年金だけで生活が苦しい高齢者就労応援
- オンデマンド交通の推進
- ICTを活用した単身高齢者の見守り

まちづくり・防災

- 阿佐ヶ谷駅北東地区計画(杉一小跡地は隣接地と一体で構想)
- 荻窪北口まちづくりの推進
- 西武線立体化と連動した駅前整備
- 幹線道路整備、治水対策の推進
- 中央道高井戸インター開通促進
- 木密対策、狭あい道路拡幅

産業・文化・スポーツ

- 若い世代の起業・スタートアップ支援
- シッター商店改装助成
- アニメを通じた国際交流の促進
- 故谷川俊太郎氏記念施設整備
- 都市型スポーツの拠点整備、
- 都市農業を活かした都市づくり

特別養護老人ホーム フェニックス杉並



旧杉並中継所跡地活用



上井草

井荻

下井草

西武新宿線 連続立体化 (井荻～上石神井)と駅前整備

西武新宿線



農福連携農園 すぎのご農園



■水害対策・インフラ整備

- ・電柱の地下化・狭あい道路対策
- ・インフラ老朽化対策

■南北交通

- ・バスの減便対策
- ・オンデマンド交通の推進

アニメーションミュージアムの機能を充実

都市計画道路 補助132号線を整備

旧若杉小 跡地の活用



河北総合病院 移転開設

高円寺カルチャーの発信



上井草ガンダム像

西荻窪

荻窪北口 まちづくり

荻窪

阿佐ヶ谷駅 周辺まちづくり

阿佐ヶ谷

高円寺

都市計画道路 補助221号線を整備

JR中央・総武線

杉並区

南阿佐ヶ谷

東京外回丸ノ内線

新高円寺

東高円寺



荻外荘復元・整備 プロジェクト



杉並区役所

都市計画道路 補助133号線 延伸



区立ドッグラン広場開設



絶対便利! 高井戸ランプ開通

久我山

富士見ヶ丘

京王井の頭線

高井戸

浜田山

西永福

永福町

方南町

方南町国家公務員 宿舎跡地の住宅整備



やりました! 在職中の実績

やります! 未来のお約束

田中良と描く 未来の杉並マップ

浜田山駅 南口開設



東電グランド活用

(公園・調整池・スポーツ施設を整備)



もっと快適に、もっと安全に

やります! 中央線沿線のまちづくり

高円寺

- 阿波おどりや古着ファッションなどの若者文化のまち高円寺のカルチャーを全国に発信。
- 中野からのアクセスの向上に向け、都市計画道路補助221号線を整備。

阿佐ヶ谷

- ホール、ギャラリー、スタートアップオフィスなどの機能を取り入れ、文化のまちを発信。
- 杉一小跡地は隣接地と一体でまちづくりを。
- 東京都、国と連携して区役所、警察署、都税事務所、税務署等を再編して行政サービスの利便性を向上。
- 都市計画道路133号線の延伸で交通アクセスの向上。

荻窪

- 現在始まった荻窪北口まちづくりを契機に杉並の中心地にふさわしいランドデザインを描く。
- 旧若杉小跡地: 災害時の物資搬出入を想定した道路整備と一体で防災公園、学童保育などの子育て機能の強化、若者世代を支援する拠点へ。
- 歴史と文化のまちの発信: 荻外荘、大田黒公園、角川庭園に加え、故谷川俊太郎記念施設を整備し歴史と文学のまちを広く発信。

西荻窪

- アニメーションミュージアム: 機能を充実、アニメのまち杉並を世界に発信。
- 都市計画道路補助132号線を整備: 防災性の向上と人にやさしいまちづくり。

やります! 西武新宿線沿線のまちづくり

- 連続立体化事業と連動した駅前整備の推進: 東京都、西武鉄道と連携して西武新宿線の駅前整備を推進し、地域活性化を推進。
- 旧杉並中継所跡地の活用: 都市型スポーツと災害対策の新しい施設として整備。
- 新しい都市農業の展開: 地産地消の推進、農の学校、生産緑地の活動支援など都市農業を支援。

やります! 京王井の頭線沿線のまちづくり

- 浜田山駅南口の即時開設: 地権者が南口のビルを整備しているにも関わらず、4年近く放置してきた岸本区政のやり方を改め、即時開設。
- 中央道高井戸インターの開通促進: 中央道高井戸インターの開通を促進し、移転後の旧富士見ヶ丘小学校の施設活用を地元とともに検討。富士見ヶ丘小の移転改築が終わった今、中央道の入り口開通の条件は整いました。

やります! 区内全域のまちづくり

- 水害対策: ゲリラ豪雨対策の治水事業を東京都と連携して着実に推進。
- 防災対策: 狭あい道路拡幅事業、電柱の地下化、インフラ老朽化対策。
- 交通対策: 南北交通、バスの減便対策、オンデマンド交通、ベビーカーや車いすで安心して移動できるまちづくり。

今も花開く田中良の施策

行政は長期的視点での取り組みが必要です。
杉並前区長 田中良が取り組んできた
施策のひとつひとつが花開いて
きています。
そのいくつかをご紹介します。



やりました! 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりで 河北総合病院移転改築

全国的に病院の閉鎖が相次ぐ中で、田中前区長がリーダーシップを発揮して取り組み、老朽化した河北総合病院が昨年6月に移転改築。機能を充実し地域医療基盤が向上。

やりました! 荻外荘開園

令和6年11月開園した荻外荘には多くの方が訪れています。これは田中前区長が自ら長年にわたって近衛家をはじめ関係者と協議を行ってきた成果です。

やりました! 区立ドッグラン広場

区長時代に地元都議との連携で東京都に働きかけ、都立和田堀公園内に区立のドッグランを開園。

やりました! 農福連携農園 すぎのこ農園

杉並らしい農業と福祉の連携、地産地消の推進。障がい者のいきがい創出や就労支援のために区長時代に開園した農園は、23区初の取り組みとして内外から注目されています。

やりました! 台湾との交流 中学生野球・阿波おどり

平成23年に「野球を通して中学生の国際交流を」という軟式野球連盟の要望を受けて中学生野球親善交流を推進。平成29年からは高円寺阿波おどりの台湾公演も実施。

やりました! 方南町国家公務員 宿舎跡地の住宅整備

国の公務員宿舎廃止方針で廃屋化していた用地を田中区長自ら国と交渉して良好な住宅として整備。

やりました! 東電グランド活用で 公園・調整池・ スポーツ施設を整備

10数年を経て今年度オープン! 東日本大震災後、東京電力所有のグランドを田中区長自ら東京都に働きかけ、公園・スポーツ施設・水害対策の調整池として整備することに。下高井戸おおぞら公園はオープン済。地下に調整池を設け、その上をスポーツ施設とする工事は今年度中に完成予定。

田中良の今が 分かる! 伝わる!



公式SNS、YouTube、LINE
各種登録はこちらから

公式サイト



サポーター募集中! 申込みはLINEから

ポスター
屋外掲示

友人・知人
の紹介

掲示板
屋外設置

座談会の
開催



杉並区生まれ・杉並育ち! 田中良の歩みと実績

- 1960年** 杉並区生まれ
桃井第五小学校、獨協中学・高校を経て、明治大学政治経済学部を卒業
卒業後、テレビ東京に入社
- 1991年** 杉並区議会議員に最年少・最高得票で初当選
- 1993年** 東京都議会議員に転身(以後5期務める)
- 2009年** 48歳で歴代最年少の東京都議会議長に就任
- 2010年** 杉並区長に初当選
- 2011年** 「安心おたっしや訪問」事業を開始
スクラム自治体支援会議を発足(南相馬市、東吾妻町、小千谷市、名寄市、杉並区)
- 2012年** 杉並区次世代育成基金を創設
- 2013年** 全区立小中学校の耐震化を完了
- 2014年** 全国初の重症心身障害児保育園「ヘレン」を開園
- 2015年** 区初の施設一体型小中一貫校「杉並和泉学園」を開設
- 2018年** 保育園待機児解消、以後待機児ゼロに
- 2020年** 東京2020大会での3カ国事前キャンプ受け入れ
コロナ禍で区内基幹4病院に区独自助成で100床のベッドを確保し、医療崩壊を防ぐ
- 2021年** コロナ禍で23区唯一成人式を挙行
農福連携農園「すぎのご農園」の全面開園
- 2022年** 特別養護老人ホーム「10年で1,000床整備計画」を達成
区長選で惜しくも187票差で敗れる

区長退任後も区長時代に取り組んだ施策が次々に具体化している。

2024年 グリーンスローモビリティ、荻外荘、ドッグラン広場他

2025年 多世代型施設「コミュニティふらっと」の開設

杉並の勇気